

平成30年度 技術承継セミナー申込用紙

岡山県中小企業団体中央会 行き

フリガナ				フリガナ			
受講者氏名				職名			
フリガナ				フリガナ			
受講者氏名				職名			
会社名							
電話番号	()	-	FAX	()	-		
E-mail	@						
受講料の請求先 住所・宛名	〒	-					

※申込書に記載された個人情報は、岡山県中小企業団体中央会が行う事業に関する情報提供の目的以外で利用することはありません。

受講申込から受講料支払いまでの流れ

①受講申込

上記の参加申込書にて、FAX
または電子メールで期限まで
にお申し込みください。

②受講者決定

対象者には、受講者決定
通知書をお送りします。
契約書等は発行いたしま
せん。

③受講料の支払い

受講者決定後、受講料の納入通知
書を送付いたしますので、納入通知
書に記載の納期限までにお振り込
みください。

定員 **40名** (1社2名まで先着順)

受講料 **6,000円** (1名様)

申込期限 **平成30年12月28日(金)**

FAX または電子メールでお申し込みください。

FAX : 086-232-4145

E-mail : akamatsu@okachu.or.jp

申込方法

*電子メールでお申し込みの方は、上記の申込書の内容を
本文に記載のうえ、お申し込みください。

会場 **ピュアリティまきび**
岡山北区下石井 2-6-41 TEL:086-232-0511



お問い合わせ先

岡山県中小企業団体中央会 組織支援二課 北山・赤松

TEL : 086-224-2245 FAX : 086-232-4145

E-mail akamatsu@okachu.or.jp

URL <http://www.okachu.or.jp/?p=5139>

平成30年度
技術承継セミナー

参加者募集

定員40名 申込期限:12/28金

主催

岡山県中小企業団体中央会



平成30年度 技術承継セミナー

参加者募集

中小企業の多くで見られる技能伝承は、熟練者のスキルを目で見て成長するモデルは効率の悪いものです。最近の技能伝承は熟練者が自らの技術・技能を明確化して、伝わりやすい方法で伝えるという合理的なモデルです。会社の財産である固有技能を確実に後継者に渡すには、優れた技能伝承の方法を理解して、最適・最短の方法で行うことが求められます。

本事業では…取り組みの重要性について学習します。セミナーでは討議や演習を通じてわかりやすく進めていきます。ご参加ください。

主催 岡山県中小企業団体中央会

対象 経営者、経営幹部の他技術・技能承継に関する責任者

開催日程 平成31年1月23日(水) 13:00～17:00

1月30日(水) 13:00～17:00

場所 ピュアリティまきび 岡山県岡山市北区下石井2-6-41

講師 (株)技術・技能教育研究所 代表取締役 **森 和夫氏**

博士(工学)

一般財団法人 職業教育開発協会 代表理事

神奈川大学 人文学研究所 客員研究員



■主なコンサル実績

2011年 凸版印刷、(株)明治の技能伝承活動を推進した。

2013年 トヨタテクニカルディベロップメント(株)に「暗黙知の明確化」「教育・指導の方法」「能力マップ作成の方法」「課題研究」の4コース、年間140時間程度の支援活動を展開した。

2015年 トヨタ自動車(株)の実験部門の技術・技能伝承支援を行った。

2016年 三菱重工業(株)の航空宇宙システム製作所の技術・技能伝承指導を行った。

2017年 堺市産業振興センターの技術・技能承継実践塾の指導を行った。

■研究開発したシステム

「技術・技能伝承システム」=経営戦略から技術・技能伝承の実施・評価までをシステム化

「看護OJTリーダー研修」=教材・マニュアル一式を開発

「SAT・技能分析手法」=技術・技能を教育用に分析する手法を確立

「美容接客指導法」=教材・マニュアル一式を開発

「PROTS・指導技術訓練システム」=技術・技能教育指導者養成セミナーと教材一式を開発

■主な著書



セミナーカリキュラム

平成31年
1月23日(水)
13:00～17:00

①技術・技能伝承の必要性

- イントロダクション
- 技術・技能伝承の必要性
- 技術と技能の違い
- 技術・技能伝承システム

②技術・技能伝承の課題と解決への道筋

- 技術・技能伝承の何が課題か
- 成功する企業の特徴
- 解決への道筋

③技術・技能伝承システムの構築

- 技術・技能伝承システムの構成
- 技術・技能伝承システム展開の事例

平成31年
1月30日(水)
13:00～17:00

④暗黙知とは何か

- 暗黙知があると何が起こるか
- 暗黙知の定義
- 暗黙知の4つの種類
- 暗黙知の4つの階層
- 技能伝承の障害となる課題に挑戦する

⑤暗黙知明確化の取り組み

- 作業手順書から教育用手順書への転換
- 教育用手順書から技能分析表への転換
- 暗黙知はインタビューで引き出す
- インタビューの方法